



厚生労働省

岩手労働局 花巻労働基準監督署

Press Release

花巻労働基準監督署  
令和6年11月15日

【照会先】

花巻労働基準監督署  
署長 熊谷 久

安全衛生課長 武藤 慶蔵

電話 0198-20-2301

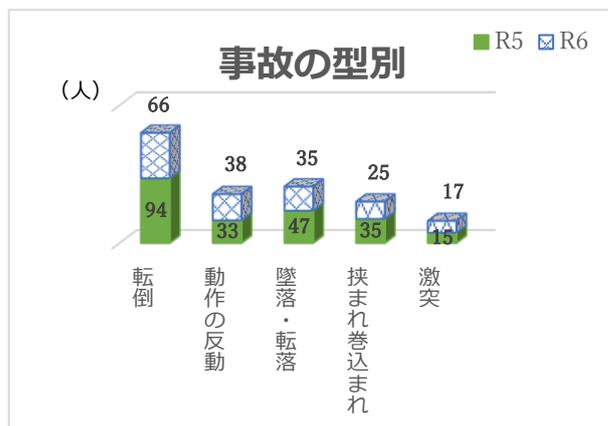
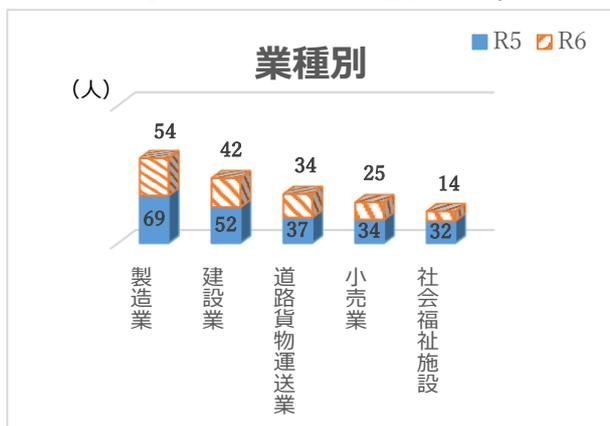
労働災害防止関係団体 各位

## 令和6年10月末現在の労働災害発生状況を公表します

### 1 当署管内の労働災害発生状況（令和6年10月末現在）

令和6年（1月から10月）に発生した休業4日以上労働災害による死傷者数は、**249人**（前年同期比-49人、-16.4%）となっています。死亡者数は**4人**で、前年同期より1人減少となっています。

業種別、事故の型別における災害発生状況は以下のとおりです（それぞれワースト5を抽出）。



### 2 建設業における労働災害発生状況（令和6年10月末現在）

建設業で令和6年（1月から10月）に発生した休業4日以上労働災害による死傷者数は42人（前年同期比-10人、-19.2%）となっています。

工事の種類別では「土木工事」が11人（前年同期比-5人、-31.3%）で最多、次いで「木造家屋建築工事」が9人（±0）となっています。

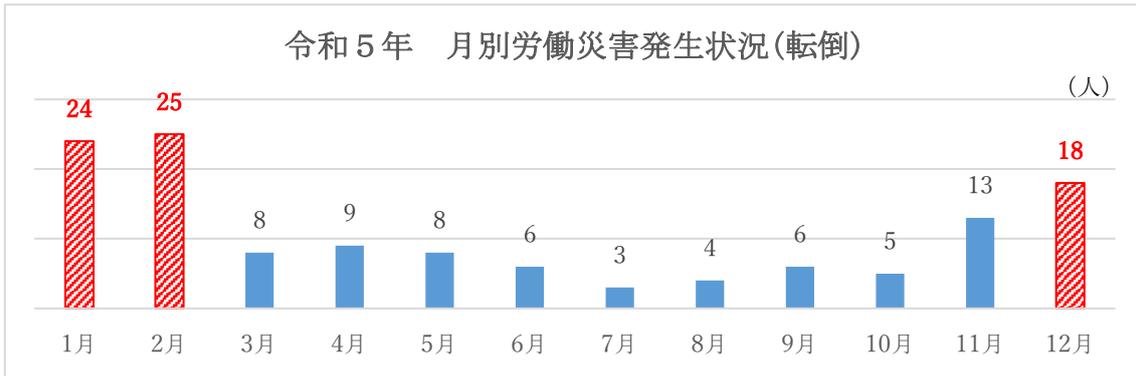
事故の型別では「墜落・転落」が17人と全体の40.5%を占めています。

### 3 岩手労働局管内の労働災害発生状況（令和6年10月末現在）

別添の岩手労働局公表のプレスリリースをご覧ください。

### 4 令和6年度 いわて年末年始無災害運動が始まります！

冬季は積雪、路面凍結により災害リスクが高まり、花巻監督署管内においても、令和5年に発生した転倒災害の半数以上（約52%）が12月から2月の冬期間に発生しました。



岩手労働局および管内労働基準監督署においては、令和6年12月1日から令和7年1月31日まで（準備期間：令和6年11月1日から11月30日まで）を『いわて年末年始無災害運動』期間として冬季特有災害防止の取組を推進します。

今年のスローガンは、

## あなたの安全家族の願い 年末年始も無災害

です。

各事業場においても、以下の実施事項に取り組み、冬季特有災害の防止に努めましょう。

実施要項・リーフレットは  
岩手労働局HPから  
ご覧ください



<p><b>1 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事業場の敷地図等に積雪・凍結しやすい場所を記入した転倒危険マップ等を作成・掲示し、転倒リスクの見え方を回す。</li> <li><input type="checkbox"/> 事務所・工場等の出入口付近、駐車場、通路、作業箇所等の積雪・凍結防止のための囲いの設置、除雪、融雪措置の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事現場の外部足場、事業場建屋の外階段等の雪の吹き込み防止用ネット等の設置。</li> <li><input type="checkbox"/> 滑り難い靴等の着用徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業時のヘルメットの着用。</li> </ul> <p><small>* 12月～2月は冬季転倒災害防止対策強化期間です。</small></p>	<p><b>5 一酸化炭素中毒の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 屋内で石油ストーブ等を使用する際の換気の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 自然換気の不十分な場所では内燃機関を有する機械を使用しない。また、練炭での採暖をしない。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事現場における練炭によるコンクリート養生は、原則避ける。やむをえず練炭を使用する場合は、一酸化炭素中毒の予防について十分な対策を講じたうえで使用する。</li> </ul>
<p><b>2 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> スタッドレスタイヤ、降雪用ワイパーなどの早めの交換。</li> <li><input type="checkbox"/> 余裕を持った車両運行計画の作成。</li> <li><input type="checkbox"/> 速度を控え、早めブレーキ、急ハンドル・急ブレーキ回避の徹底及び十分な車両距離の確保。</li> <li><input type="checkbox"/> 橋上・トンネル出入口・日陰部分等の速度控えの徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> ブラックアイスバーンを予測した運転。<small>※</small></li> <li><input type="checkbox"/> 運転席を離れる際の車輪止めの設置。</li> </ul> <p><small>* ブラックアイスバーンとは、濡れているだけに黒く見え、薄い氷の膜ができた路面状態のことで、濡れた路面との見極めが難しい。</small></p>	<p><b>6 凍結の繰り返しによる土砂崩壊災害等の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 凍結・融解の繰り返しによる地山の緩みから生じる崩壊・転石による災害防止のための作業開始前の地山の点検・こそこの徹底、土止め支保工の適切な設置。</li> <li><input type="checkbox"/> 融雪・鉄砲水災害防止のため、作業箇所周辺、上流の雪・融雪等の状態の調査の実施と調査結果に基づく適切な措置の徹底。</li> </ul>
<p><b>3 雪降ろしの際の災害の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 作業開始前の腰痛予防体操の励行。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全装備（滑り難い靴・墜落制止用器具（安全帯）・ヘルメット等）の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 軒先の立入禁止の徹底。</li> </ul>	<p><b>7 作業時の保温・体調の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 作業場内の気温調整、防寒衣の着用等による保温の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業開始前及び作業の合間の筋力をほぐす体操の励行。</li> </ul>
<p><b>4 火災・火傷の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 薪ストーブ・焚き火等の着火の際のガソリン・軽油・灯油等の使用禁止。</li> <li><input type="checkbox"/> ガソリン等可燃物の保管場所の火気厳禁の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業場、工事現場、寄宿舍等における火気取組責任者の選任、作業終了時・就寝時等の火気の点検の徹底。</li> </ul>	<p><b>8 その他の冬季特有災害の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 積雪・強風によるハウス等の転倒・倒壊防止。</li> <li><input type="checkbox"/> 雪崩による危険防止。</li> <li><input type="checkbox"/> 吹雪・濃霧による避難防止対策の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 除雪作業に用いる車両系建設機械の有資格者による運転と安全教育の徹底。</li> <li><input type="checkbox"/> 除排雪機械の着氷除去作業時のエンジンの停止。</li> </ul>